

## 策定に当たって

21世紀は、「知識に基づく社会」が地球規模で成熟していく時代であると言われてい  
ます。このような時代にあつて、国土が狭く、かつ天然資源の多くを海外に依存してい  
るわが国は、政治、経済、産業のあらゆる面で人的資源を生かした知識集約型の社会を  
構築することを目指さなければなりません。

知識は、技術とも相まって、単にそれらを有するのみではなく、あらゆる場面で活用・  
応用できることが大切です。この知識・技術を活用して社会の変化に柔軟に適応し、さ  
らに新たな社会を創出していくことができる能力、すなわち「思考力」、「判断力」、「応  
用力」といった真に“確かな学力”こそが、現在の社会でも、そして未来の社会でも求  
められるものです。

石巻市のこれからの教育は、21世紀を力強く主体的に生きていくことのできるこれ  
らの能力を身に付けた、子どもの育成を目指したいと考えております。そして、子ども  
自身が自己を誇りに思い、また市民がこのような子どもたちを誇りに思う教育を目指し  
たいと考えます。

この実現のために、第一に考えなければならないことは、一人一人の子どもが持って  
いる多様性を理解し尊重し、存分に伸ばすことです。そのため、学習した知識や技術を  
生涯にわたって生かせる技能に発展させ、「思考力」、「判断力」などの確かな学力として  
身に付けさせ、また生涯学び続けようとする意欲の増大を図るための学びの諸環境を整  
備・充実させることが必要であると考えます。

また、知識・技術の獲得と活用は、豊かな人間性を伴って為されることが大切です。  
そのためには、美しさに感動する心や他人の痛みが分かる思いやりなどの豊かな感性と  
健康など、心身のバランスのとれた育成の仕組みを構築する必要があり、そのための条  
件整備を図りたいと考えます。

教育の目的は、子どもたち一人一人が個人として自立し、幸福で充実した生涯を送る  
ことができるようにするため、必要な資質を備えた心身ともに健康な人間を育成するこ  
とであります。これから21世紀を生きていこうとする子どもたちに、真に「生きる力」  
を身に付けさせる教育はどうあったらよいか、この教育ビジョンにより教育施策に取り  
組んでいく上で、どういう場面であっても「子ども優先」を基本に考え、家庭、地域、  
学校と一丸となり、子どもたちにとって最善の教育の実現を目指してまいりたいと考え  
ます。

平成20年3月27日

石巻市教育委員会 教育委員長 松 田 孝 子  
教育委員 阿 部 盛 男  
教育委員 佐 藤 公 美  
教育委員 鶴 岡 昭 雄  
教 育 長 阿 部 和 夫